

平塚市文化財展 主な展示遺物

考古資料

資料名	内容	展示方法
旧石器時代の石器	真田・北金目遺跡群で発見された1万8000年前のローム層中から出土した石器製作跡遺物	実物
五領ヶ台遺跡の土器	南関東の縄文時代中期初頭の標準となっている縄文土器。	実物
真田・北金目遺跡群の出土資料	住居跡から出土した縄文土器、石器、住居跡や方形周溝墓から出土した弥生土器、炭化した米、奈良・平安時代の「方岡」(現在の片岡か?)と書かれた墨書土器、甕。中世の壺など	実物
広川・公所遺跡群の内沢遺跡で発見された小銅鐸(しょうどうたく)	平成9年から11年にかけて調査した広川・公所遺跡群(めぐみヶ丘の造成工事に伴う調査)で古墳時代前期(1700年前)の集落から発見された小型の銅鐸。 大きさは高さ10cm、幅6.6cm、奥行き3.7cm。銅鐸はまつりに使用した青銅製の道具。	実物
真田・北金目群の主な遺構と解説	真田・北金目遺跡群で発見された代表的な遺構を解説。 縄文時代の陥穴(おとしあな)、弥生時代の建物跡と方形周溝墓、奈良・平安時代の建物跡、中世の堀や道路。	パネル
塚越古墳	4世紀後半(=1650年前)の前方後方型の古墳。相模国域では最大級の大きさ。塚越公園内に保存予定	パネル

指定文化財

資料名	内容	展示方法
金目山光明寺	<p>市内でも有数の文化財の宝庫として知られる。</p> <p>国指定文化財:本堂内厨子(15世紀 室町時代)。昭和45年(1970)指定</p> <p>県指定文化財:金剛力士像(14世紀 南北朝時代)。平成3年(1991)指定。</p> <p>銅鐘(14世紀 南北朝時代)。昭和38年(1963)指定。</p> <p>光明寺観音堂(本堂)(15世紀 室町時代)昭和54年(1979)指定。</p> <p>市指定文化財:木造 聖観世音菩薩立像(もくぞう せいこんぜおんぼさつりゅうぞう 金目観音の本尊 平安から鎌倉時代)。</p> <p>昭和35年(1960)指定。</p> <p>木造観音三十三応現身立像(もくぞう かののんさんじゅうさんおうげんしんりゅうぞう 室町初期)。</p> <p>平成12年(2000)指定。</p> <p>金目観音堂二(仁)王門(15～16世紀)。昭和60年(1985)指定。</p> <p>光明寺古文書(12～14世紀)。昭和35年(1960)指定。光明寺の権利や訴訟にかかわる文書。</p> <p>光明寺縁起書(18世紀)。昭和35年(1960)指定。浜で観音像を拾い上げた事などを記す縁起書。</p>	パネル
北金目神社本殿	<p>神社の内部に祀られている本殿は市内では唯一、県内でも数少ない春日造り(かすがづくり)の建造物である。江戸時代前期(17世紀中～後期建立)。春日造りは奈良の春日大社本殿に代表される神社建築の様式。平成6年(1994)市指定。</p>	
五領ヶ台遺跡	<p>国指定史跡。西貝塚と東貝塚がある。大正 14 年以降数回に分けて調査され、出土土器が南関東の縄文時代中期初頭の標準となった「五領ヶ台式土器」に設定された。現在は市の公園。昭和47年(1972)国指定</p>	

郷土資料

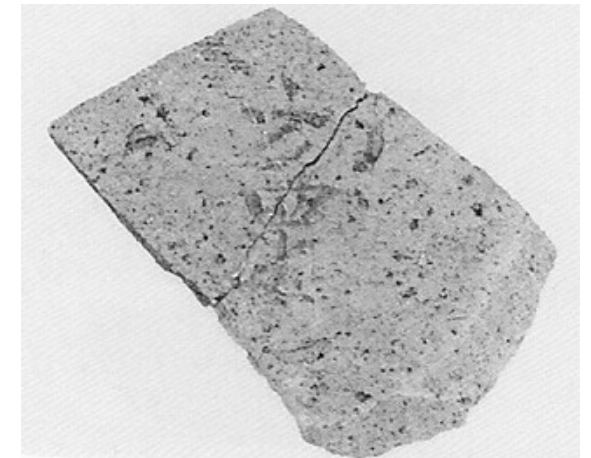
資料名	内容	展示方法
地勢	金目地区の大字、小字(地図パネル)。宝永期(江戸時代 1707年)に積もった富士山の火山灰(実物)。	地図パネル 実物
歴史・文化	旧金目村役場のパネル、水車で用いた臼(実物)。明治時代の教育、明治時代の自由民権家(パネル)	パネル 実物
いとなみ	稲荷初午ののぼり(実物)、真田の子供みこし(実物)、金目地区のお盆の風習(復元)、子供の誕生を知らせるために家々を回った回り地蔵(実物)など	パネル 実物
自然・景観	天徳寺や塚越古墳、吾妻橋等から展望できる富士ビューポイント ケヤキ、クスノキ、ヒノキなど市指定保存樹林となっている樹木、ヤマグワやオニグルミなどの各季節の草花、ホタルのほか金目地区みられる生きもの	パネル



広川・公所遺跡群出土銅鐸



真田・北金目遺跡群出土おにぎり炭化米



真田・北金目遺跡群出土「方岡」墨書土器
(現在の片岡か?)